

2011年08月29日

## 【格付維持】

## 追手門学院

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

1888年に大阪偕行社附属小学校として大阪市内に創設された小学校を起源とする学校法人。2008年の創立120周年を機に、学院の教育理念として「独立自彊・社会有為」を再確認するとともに、追手門学院将来計画「追手門ビジョン120」を策定した。2010年には学院教育改革検討委員会を設置、教育目標を実現するための施策を検討する。

ここ数年、大学入試の総志願者数は減少が続いている。景気の低迷もあって、受験生の近場志向や安定志向が強くなっており、大阪府からの志願者は堅調に増えている一方で、兵庫県や京都府など隣接する府県からの志願者の減少が大きかった。入試担当者間の情報交流を密にして戦略性のある広報を展開していく。厳しい就職環境の中、2010年度卒業生の進路実績は大きく改善した。キャリア開発課が中心となって就職支援に力を入れたことが奏功している。

徹底した経費削減を伴う経営改革を進めており、帰属収支差額比率は良好な水準を維持している。キャンパスリニューアルの影響で当面、減価償却負担が高まるものの、経費の管理能力に優れていることから収支面での不安は小さい。教育環境の充実を図るため大学教員の増員を予定しており、今後は人件費率がやや高まる可能性がある。総資産に占める引当資産や現預金の割合が高く、1998年度以降、無借金経営を続けるなど財務構成は良好である。格付の方向性は安定的。

## 【格付対象】

発行者：追手門学院

| 名称    | 格付     | 格付の方向性 |
|-------|--------|--------|
| 発行体格付 | A (維持) | 安定的    |

## 信用格付に関わる事項

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 信用格付業者<br>登録番号             | 株式会社格付投資情報センター<br>金融庁長官（格付）第6号<br>直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。 |
| 主任格付アナリスト                  | 下山 直人  |
| 信用格付の付与について<br>代表して責任を有する者 | 神林 尚   |

|  |  |
|--|--|
| 主要な格付方法  | R&Iの信用格付の基本的な考え方 [2011. 08. 15]<br>学校法人 [2010. 10. 01] |
| 上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。<br><a href="http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html">http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html</a>   |  |
| 評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。<br><a href="http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/RatingDeterminationPolicies.pdf">http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/RatingDeterminationPolicies.pdf</a>  |  |
| 格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。<br><a href="http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html">http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html</a>   |  |
| 格付関係者  | 追手門学院  |
| 注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。  |  |
| 利用した主要な情報  | 決算書類   |
| 品質確保のための措置   | 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。           |
| 情報提供者  | 格付関係者  |
| 信用格付の前提、意義及び限界<br>R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。<br>R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 |  |